

平成 24 年度 厚生労働科学研究 「快適で安全な妊娠出産の ためのガイドライン(改訂 案)」の意見公募のお知らせ

●研究班から

このたび、標題のガイドラインを改訂いたしました。妊娠出産育児をされるお母さま方、これから妊娠出産育児をされる女性、周産期医療に携わる産婦人科医、新生児科・小児科医、助産師、保健師、看護職等、現場の専門職の皆さま、行政に携わる方々、多くの方々からご意見をうかがいます。下記 URL を参照いただき、ご意見をお寄せください。

●期日

9 月 30 日(日)まで

●URL

<http://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/~osanguid/index.html>

●ご意見の送り先

e-mail : boseioffice@sahs.med.osaka-u.ac.jp

●問い合わせ先

〒565-871 大阪府吹田市山田丘 1-7
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 島田三恵子
Fax : 06-6879-2532

第 5 回母乳育児支援研修会

●日時

10 月 13 日(土) 13:00~18:00
終了後、講師と懇談会(希望者のみ)
10 月 14 日(日) 9:00~16:00

●会場

国立病院機構九州医療センター
(福岡市中央区地行浜 1-8-1)

●研修費

会員 1 万 2000 円

非会員 1 万 5000 円

※10 月 14 日(日)の昼食お弁当代・資料代含む。2 日間受講された方には修了証が発行されます。

●プログラム

基調講演「母乳育児の意味と『10 力条』を学ぶ」吉永宗義(日本赤十字九州国際看護大学)／「施設・病院全体で母乳育児に取り組む意義」中野隆(富山県立中央病院)／「赤ちゃんにとっての母乳-免疫、栄養最新の知識から」佐藤和夫(国立病院機構九州医療センター)／「出産後の母と赤ちゃんのからだどころのケア-入院中の母乳育児支援の実践と工夫」倉富明美(国立病院機構九州医療センター)／「BFH 認定後に起こる問題をどう乗り越えるか-母乳育児支援は、病院全体・お産も変えた」佐藤文彦(山形市立病院済生館)ほか

●締め切り

10 月 5 日(金)。先着 100 名。

●申し込み方法

URL : <http://www.bonyu.or.jp>
から申し込み用紙をダウンロードし、FAX を送ってください。

●問い合わせ先

日本母乳の会
〒165-0026 東京都中野区新井 3-9-4
TEL : 03-5318-7383
FAX : 03-5318-7384

助産師・看護師向け マタニティクラス開講 技法国際研修

●日時

ベーシックコース : 10 月 12 日(金), 13 日(土) 9:30~17:30
アドバンスコース : 10 月 14 日(日), 15 日(月) 9:30~17:30
※以下、コースごとの記載がない項目については、2 コース共通

【ベーシックコース：講義＆ワーク ショップで実践指導！】

KEEP BIRTH NORMAL 1~産む力を高め、守る力をつける

●会場

日本赤十字看護大学
(東京都渋谷区広尾 4-1-3)

●参加費

7 万 3500 円(昼食 2 日間、資料代、通訳料込)

※「KEEP BIRTH NORMAL 2」とのセット申し込みの場合 13 万 2300 円

●プログラム

「参加型マタニティクラスの成功の鍵」「世界共通の“正常産”とは」「女性に備わる出産力支援法」「陣痛中の自律と自信を支える技能」「助産師のための安産 NLP 入門」ほか
【アドバンスコース：ベーシック受講者への上級テクニック指導！】

KEEP BIRTH NORMAL 2~バースプラン有効活用で高める安産支援

●会場

東京都内を予定

●参加費

7 万 3500 円(昼食 2 日間、資料代、通訳料込)

※「KEEP BIRTH NORMAL I」とのセット申込みの場合 13 万 2300 円

●プログラム

基調講演「バースプランを拓げる可能性」竹内正人／「夫婦が望む出産を成し遂げるために～バースプラン」「出産場所の選択、介助方法の選択、医療に関する意思決定について」「『バースプラン』通りにいかなかったらどうするか?」アンドレア・ロバートソンほか

(日本語通訳あり、修了証授与)

●対象

助産師、看護師、保健師

●講師

アンドレア・ロバートソン(バースエデュケーター・豪州バースインターナショナル代表)

ユール洋子(米国認定 NLP トレーナー・通訳翻訳家)

大葉ナナコ(バースコーディネーター・バースセンス研究所代表)

●申し込み方法

下記ウェブサイトより該当ショッピングカートをご利用ください。

<http://birth-sense.shop-pro.jp/>(携帯対応)

パソコンをお持ちでない方は、氏名、住所、連絡先電話番号、FAX 番号、職業(勤務先)、生年月日、希望講座名と開催日を明記して FAX でお申し込みください。空席を確認し、折り返し連絡をいたします。

●申し込み・問い合わせ先

バースセンス研究所クラス受付担当
FAX : 03-5738-6552

e-mail : class@birth-sense.com

講演会 第 13 回 「母乳育児支援を学ぶ 北陸教室」in 富山

●日時

10 月 20 日(土)

9 : 45(9 : 15 受付)～16 : 40

●会場

富山県民共生センターサンフォルテ
(富山県富山市湊入船町 6-7)

●プログラム

「NICU における母乳育児支援」「授乳と母親の感染症」「母乳で育つ子どもの成長発達とその見方」水野克己(小児科医・IBCLC)／「搾乳と母乳の保存」水野紀子(助産師・IBCLC)

●継続教育単位

5.25 L-CERPs

●参加費

事前振込 4500 円

当日参加 5500 円

学生 2000 円(事前申し込み不要。

当日学生書を提示し参加費支払い)

●申し込み方法

件名を「第 13 回学習会申し込み」として 10 月 5 日(金)までに e-mail か FAX で下記項目を記入のうえ申し込みください。

氏名(必ずふりがな、ローマ字表記を併記)、住所、電話番号、FAX 番号、メールアドレス、勤務先、職種を記入(代表で複数名申し込みの場合も、お 1 人ずつの情報を記載)

●申し込み先

e-mail : hokurikubonyuu@yahoo.co.jp

FAX : 0765-74-0428

●問い合わせ先

桶作、宮西

hokurikubonyuu@yahoo.co.jp

第 1 回 北海道母乳育児学習会

●日時

11 月 4 日(日)

●会場

札幌市医師会館 大ホール(北海道札幌市中央区大通西 19 丁目 1)

●参加費

事前受付 4500 円(10 月 15 日まで)、当日 6000 円

●受講対象者

母乳育児を支援する専門職(助産師、看護師、保健師、医師、栄養士、保育士等)をはじめ、高校生、大学生、専門学校生、母乳育児支援認定リーダー、その他、母乳育児に興味のある方であれば、どなたでも参加できます。

●プログラム

お母さんにやさしいケア～母乳分泌の生理～体重が増えない赤ちゃんの母乳育児支援(理論編、実践編)

●申し込み方法

名前(必ずふりがな、ローマ字表記を併記)、住所、連絡先(電話、パソコンの e-mail アドレス)、所属先、職種、子ども連れの有無と子どもの年齢を必ず明記し、件名に「第 1 回申し込み」と記載のうえ、下記 e-mail アドレス宛に、メールで申し込みをお願いします。

e-mail : gakushuukai-mousikomi@yahoo.co.jp

事前申込は10月15日(月)までに
お願いいたします。

●問い合わせ先

北海道母乳育児学習会

e-mail: hokkaido_gakushuukai@
yahoogroups.jp

第9回日本周産期 メンタルヘルス研究会 学術集会

●日程

11月10日(土)・11日(日)

●会場

JA 共済ビルカンファレンスホール
(東京都千代田区平河町 2-7-9)

●テーマ

ハイリスク妊娠とメンタルヘルス

●参加費

学術集会: 会員 3000 円, 非会員
4000 円, 学生 1000 円(大学院生を
含む)

研修会: 3000 円

●プログラム

特別講演「母と子をつなぐホルモ
ン, オキシトシン: マウスをモデル
とした行動神経科学的研究」西森克
彦(東北大学大学院農学研究科応用
生命科学教授)／ランチョンセミナ
ー「性同一性障害の現状と産婦人科
の役割」針間克己(はりまメンタル
クリニック院長, GID 学会理事)／
シンポジウム「ハイリスク妊娠とメ
ンタルヘルス」ほか

●申し込み・問い合わせ先

〒113-8421 東京都文京区本郷 2-
1-1 順天堂大学産婦人科学教室
FAX: 03-5802-2480

e-mail: mieya@juntendo.ac.jp
<http://pmh.jp/index.html>

助産師のための周産期 遺伝看護セミナー

●日時

12月8日(土)9:50~15:30

12月9日(日)9:30~15:40

●会場

日本助産師会 2 階研修室
(東京都台東区鳥越 2-12-2)

●参加費

会員 1 万円(1 日参加 8000 円)
非会員 1 万 5000 円(1 日参加 1 万
円)

●募集人数

60 名

●プログラム

「遺伝外来から見える家族・倫理と
は?」小笹由香(東京医科歯科大学
生命倫理研究センター)／「妊婦健
診から遺伝カウンセリングにつなげ
る役割」鈴木美和(東京医科歯科大
学医学部附属病院)／「日本におけ
る遺伝看護の変遷と将来」有森直子
(聖路加看護大学)ほか

●申し込み方法

機関誌「助産師」巻末の「研修会・
セミナー受講申込書」に記入のうえ
FAX するか, 日本助産師会ウェブサ
イト [http://midwife.or.jp/associa
tion/seminar.html](http://midwife.or.jp/association/seminar.html) からお申し込み
ください。

●問い合わせ先

日本助産師会
TEL: 03-3866-3054
FAX: 03-3866-3064

看護学の知識体系を 構築するための 質的研究方法を用いた 学位論文指導プログラム ワークショップ

●日時

12月16日(日)10:00~16:00

●会場

東京ステーションカンファレンス
605
(東京都千代田区丸の内 1-7-12 サ
ピアタワー 4~6 階)

●参加費

無料(先着 120 名)

●プログラム(予定)

英文にしたメンタリングプロセス報
告, 指導プロセス分析報告, 評価基
準への評価まとめ, シンポジウム

●講師

萱間真美(聖路加看護大学), 太田
喜久子(慶應義塾大学看護医療学
部), 麻原きよみ(聖路加看護大
学), 木下康仁(立教大学社会学
部), グレグ美鈴(神戸市看護大
学)ほか

●申込み方法

下記 e-mail アドレス宛に, タイト
ル「WS 申し込み希望」としてお申
し込みください。

e-mail: shitsu-ken2012@slcn.ac.jp

担当: 大熊恵子(聖路加看護大学大
学院)